

地域の景観・環境美化を推進

朝日地区「ちょボラごみ拾い」開催

「ちょボラごみ拾い」が、朝日地区地域づくり委員会の主催で4月23日に開催され、朝日地区内から53人が参加しました。

参加者の皆さんは、国道289号沿いや町道沿いに落ちていたゴミを精力的に拾い歩き、集めたゴミは燃えるゴミが20袋分、燃えないゴミが8袋分、危険ゴミが1袋分となりました。

ゴミ拾いを終えた参加者は、「こんなに沢山のゴミが落ちているのは悲しくなります。今日はみんなと一緒に地域をキレイにできて良かったです」と話しました。



▲地域の美化のために早朝からゴミ拾いに参加した皆さん



▲報告に訪れた湯田和敬校長(右)

文部科学大臣表彰を受賞

明和小学校「子供の読書活動優秀実践校」に選ばれました

令和4年度「子供の読書活動優秀実践校に対する文部科学大臣表彰」に明和小学校が選ばれ、湯田和敬校長が受賞報告に役場を訪れました。

明和小学校は、地域の図書ボランティアの方との連携や、アナウンサーの方などによる読み聞かせ、県立図書館の「あづま号」を活用し様々な図書に触れる機会を設けるなど、地域や関係機関と連携した読書活動の推進が表彰につながりました。



虫歯のない子

(4月26日 3歳児検診)



さかい いっしん
酒井 一心くん
(黒谷)



やまうち とし
山内 杜生くん
(梁取)



かくだ かずま
角田 和真くん
(熊倉)



えんどう なお
遠藤 菜乃さん
(小林)



さんべん さく
三瓶 朝空くん
(大倉)

全国大会出場メンバーに選出

五十嵐千紘くん「福島県小学生剣道選手権大会」3位入賞

五十嵐千紘くん（只見小）が、「福島県小学生剣道選手権大会」（令和3年10月17日開催）で3位に入賞し、今年9月開催予定の「全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会」（全国大会）に福島県代表として出場することが決定しました。

千紘くんは「3位になれたことが、まだ夢のようです。全国大会に向けた強化練習をしっかりとこなして、爪痕を残せるように頑張ります」と決意を話しました。

指導者の日野さんと目黒さんは「今回の出場は素晴らしいことだと思います。勝ち負けだけにこだわらず、剣道を通して人としても成長を続けてほしい」と話しました。



▲3位入賞と全国大会出場の報告をする千紘君

お互いを鼓舞しながら駆け抜けました

町内小学校運動会

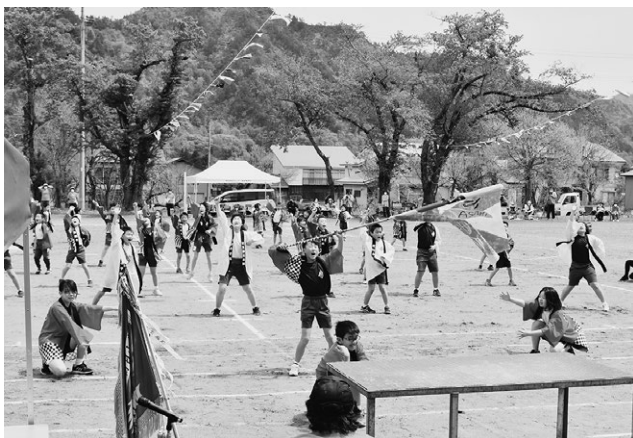


▲ダンシング玉入れ（只見小：5月21日）

町内3小学校で運動会が開催され、児童たちは玉入れやリレー、ダンスなどの様々な競技で日頃の練習の成果を発揮していました。

応援合戦では、時事ネタなどを取り入れながら気合いをいれたりお互いを鼓舞しあったりしチームの士気を高めました。

今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、観覧者は保護者やご家族の方のみでしたが、会場中に響き渡るほど大きな拍手が、真剣に競技する児童たちに送られていました。



▲朝日よっしゃこい（朝日小：5月14日）



▲紅白応援合戦（明和小：5月14日）

残雪の残る森林を歩く

ブナセンター自然観察会「春の花と新緑のブナ林観察会」

「春の花観察会」が4月30日に、「新緑のブナ林観察会」が5月1日に、ブナセンター主催でそれぞれ開催されました。

「春の花観察会」は、12人の参加者が余名沢の森林内を歩き、フクジュソウやカタクリ、キクザキイチゲなどの春植物を観察し、ブナ林やミズナラ林などの林ごとに変わる植物の生態に関心を寄せていました。

「新緑のブナ林観察会」は、12人の参加者が「癒しの森」を松坂峠側から登り、カラマツやコナラ、ブナを観察しながら、残雪の中に広がる新緑を楽しみました。



▲解説を聞く参加者の皆さん（新緑のブナ林観察会）

農業の大変さや工夫を学ぶ

町内小中学校で田植え体験

町内小中学校で農家の方の水田を借りて「田植え体験」が行われました。（只見小：新國真也さん、朝日小：藁谷友活さん、明和小：松井栄吉さん、只見中：三瓶清志さん）

子どもたちは、農家の皆さんから稲作の歴史や現状を教わり、農業の大変さと大切さを学びました。

今後は、秋に稲刈り体験を行う他、中学校では、お米の6次化についても学習を深める予定です。



▲只見中学校2年生（5月19日）



▲只見小学校5、6年生（5月16日）



▲朝日小学校5年生（5月30日）



▲明和小学校5、6年生（5月23日）